



データやアンケートの結果からみた **中野市**の現状

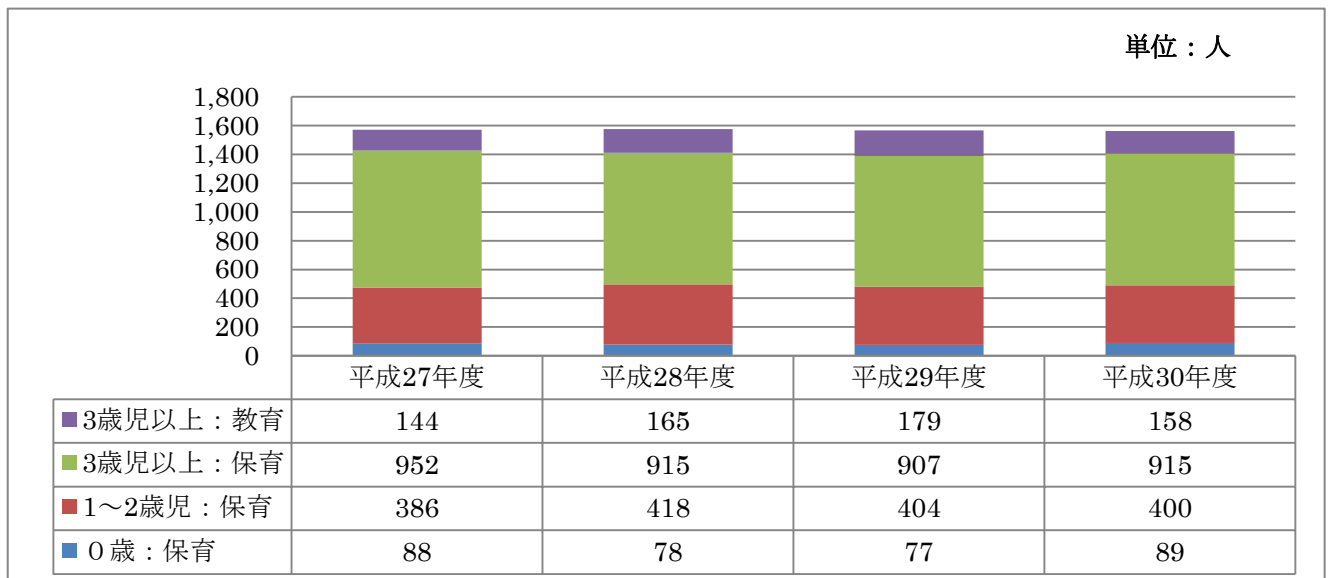
～保育課資料及び第2期中野市子ども・子育て支援事業計画から一部抜粋～

1 0歳から5歳までの人口の推移と推計

(単位:人)

年齢	実績値					推計値				
	平成	平成	平成	平成	平成	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6
0歳	348	326	305	307	307	303	296	288	284	275
1歳	362	356	333	317	323	317	313	306	297	293
2歳	353	359	347	342	319	323	317	313	306	297
3歳	373	358	353	347	343	319	323	318	314	306
4歳	356	382	363	355	353	348	324	328	323	318
5歳	378	350	386	362	362	354	349	325	329	324
計	2,170	2,131	2,087	2,030	2,007	1,964	1,922	1,878	1,853	1,813

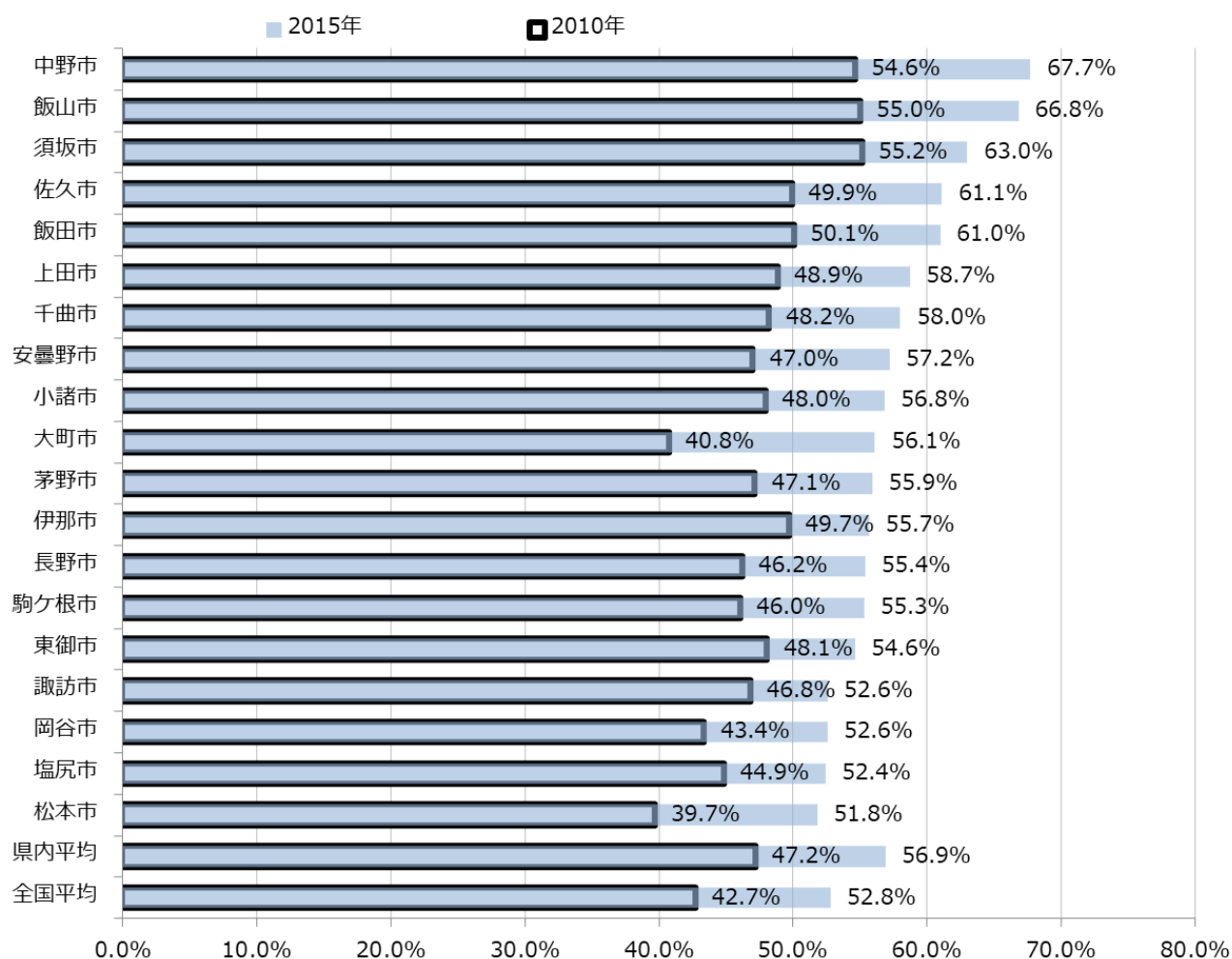
2 中野市の保育等施設の入園児童数の推移



1.2 からわかること・・・

- 0歳から5歳までの人口は減少しているが、保育等施設の入園児童数全体ではほぼ横ばい。この理由は3歳児以上児が微減、0から2歳児が微増
- 3歳児以上では、教育を受ける施設として、民間施設を選択する保護者の割合も微増

3 共働き率



※中野市政策研究所が国政調査の結果を基に、「最年少の子どもが0～6歳の核家族世帯」を条件に限定し調査した結果

- 中野市は、長野県内19市中最も共働きが多い。
- 中野市においては5年間で13.1ポイント増加。

4 女性の就業率と産業別就業者

- 就業率 男性72.5%、女性45.7%⇒女性の2人に1人は就業している。
- 女性の産業別就業割合では、「医療、福祉」が25.0%、「卸売、小売業」が18.8%、「製造業」が15.2%、「農業」が14.2%。
- 特に、女性の就業者が男性の就業者を上回る業種は、「医療、福祉」で81.1%である。

3、4からわかること・・・

- 就業率が高いということは、保育所等の利用を必要とする方が多いということ
- 看護師、介護士等の職種が多いと予想され、保育等の利用時間や利用日も考慮する必要があるか（1日の利用時間、年末年始、お盆等）

5 子育てニーズ調査の結果と考察

① 調査の概要

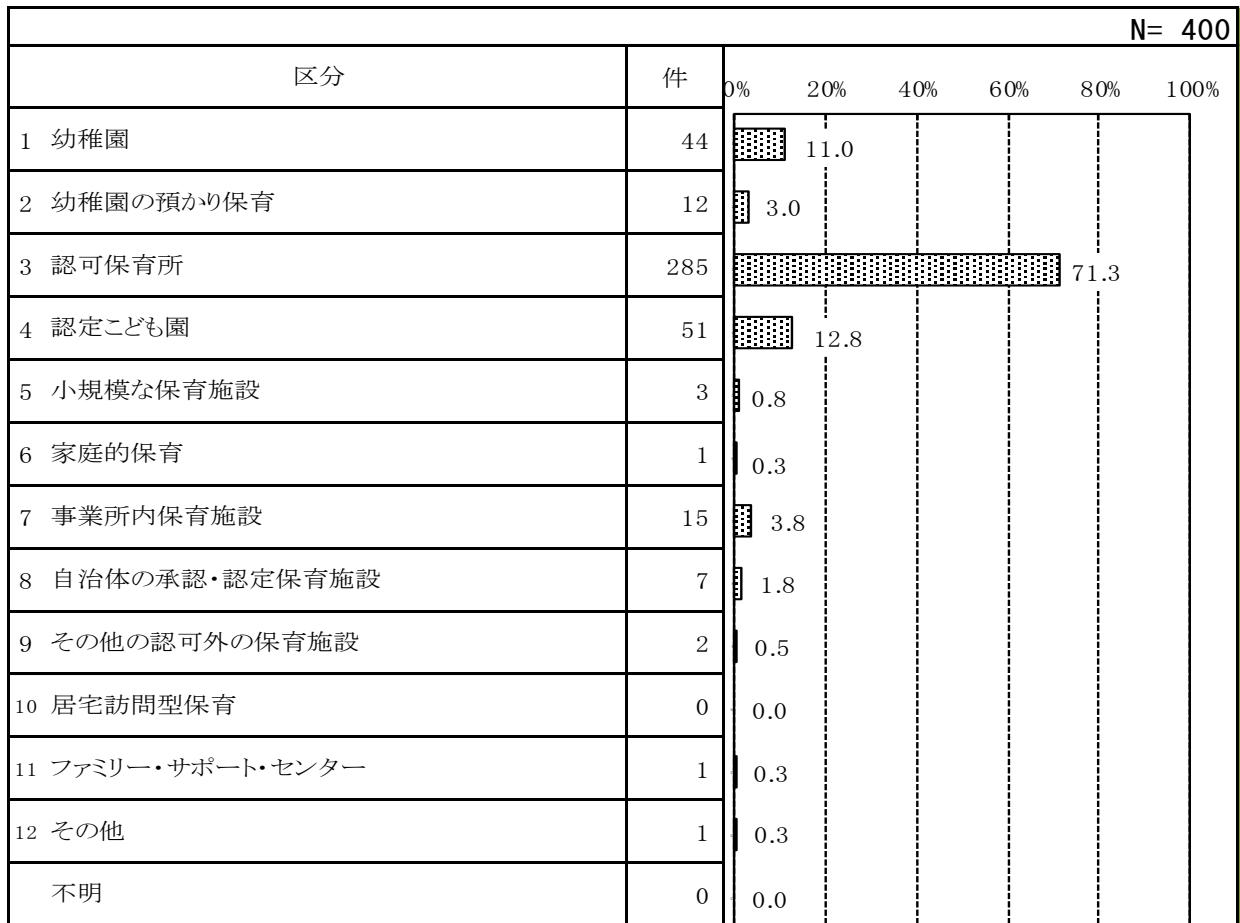
項目	区分	配付数	回収数	回収率
調査対象	就学前児童	1,000 票	513 票	51.3%
	小学生	1,000 票	505 票	50.5%
調査期間	平成 31 年 1 月 7 日 ~ 平成 31 年 1 月 25 日			
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年 4 月 1 日を基準に、中野市在住の 0 歳から小学 6 年生までの児童が同居する世帯から無作為抽出。 調査票を対象児童宛に郵送し、無記名で郵便により返送。併せて、市内に設置したアンケート回収箱にて回収。 			

② 「定期的な教育・保育事業」の利用

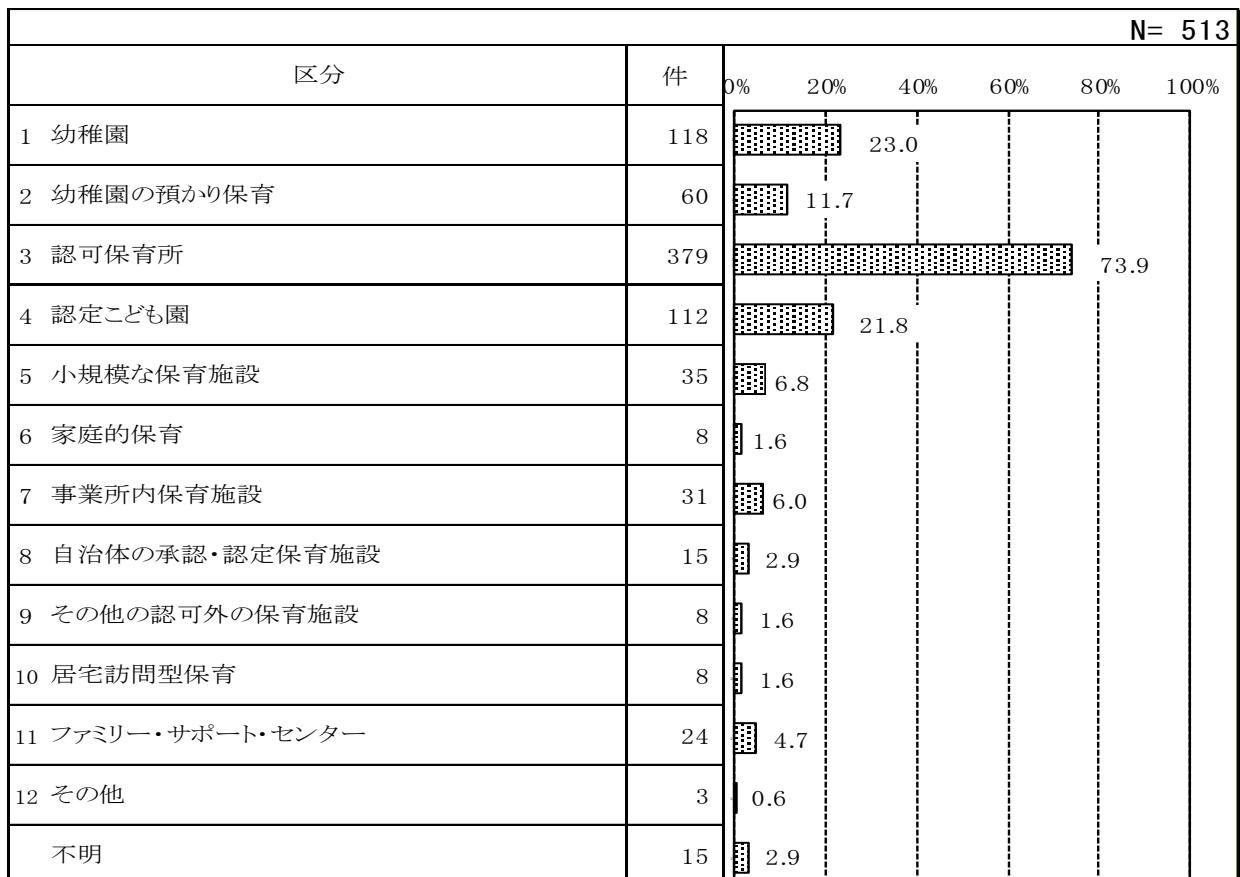
		N= 513					
区分	件	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1 利用している	400						78.0
2 利用していない	110						21.4
不明	3						0.6



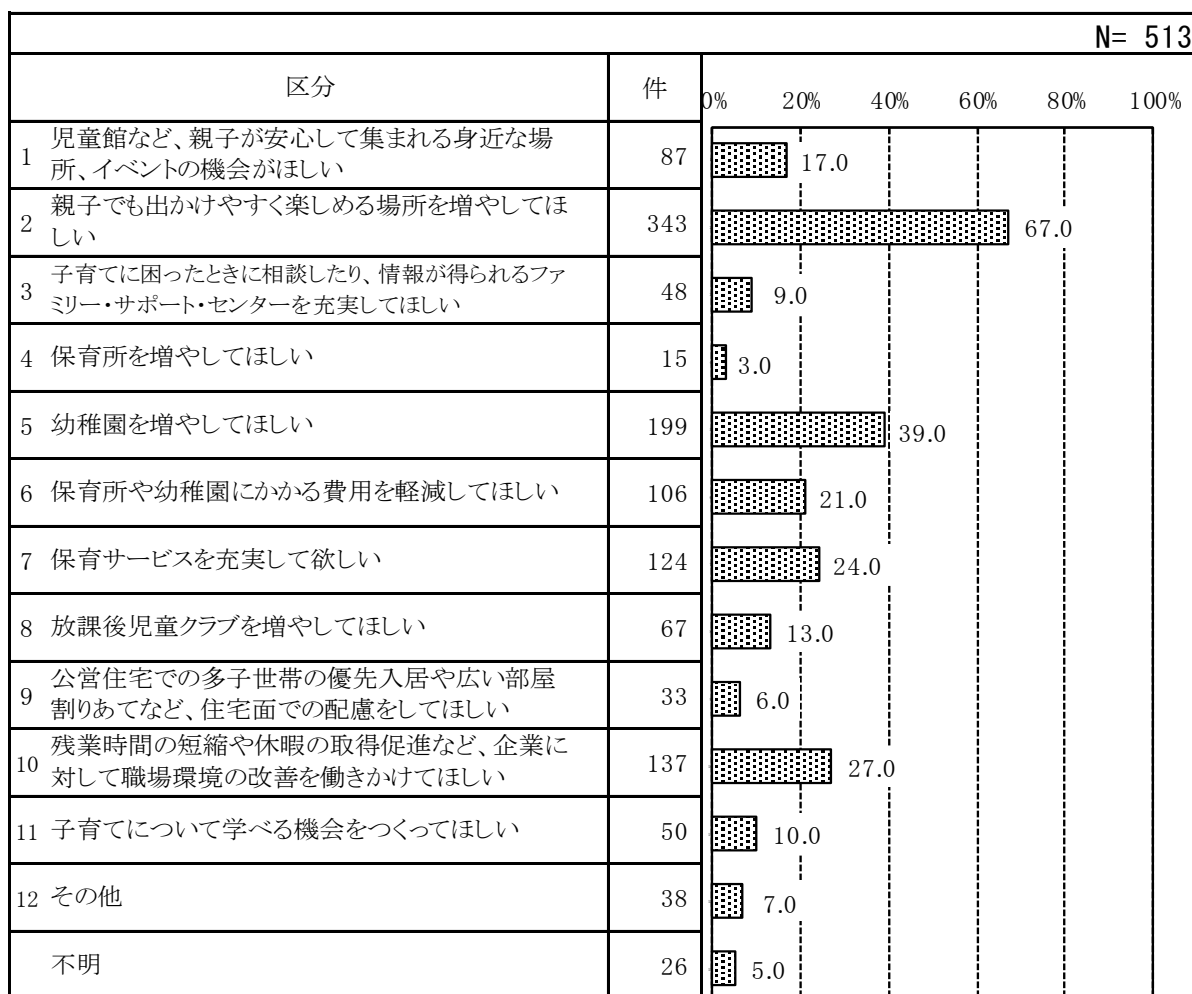
③ 「定期的な教育・保育事業」の現在利用している事業



④ 「定期的な教育・保育事業」の利用を希望する事業



⑤ 中野市に対して期待する子育て支援



5からわかること・・・

- 現在利用している施設は、認可保育所が71.3%と高い。
- もし利用するとしたらとなると、認可保育所が73.9%であり、幼稚園や認定子ども園も含め、多くの児童と接する機会のある施設での希望が多い
- 中野市に対して期待する支援として、保育所より幼稚園を増やしてほしいという意見が多い。なぜか。
- 保育サービスを充実するには、具体的にはどのような内容か調査することも必要である。
(利用したい施設、利用時間、送迎方法、満足度などいろいろ)



6 現在通っている園と居住地

施設名/地区名	中野	日野	延徳	平野	高丘	長丘	平岡	科野	倭	豊井	永田	計
松川保育園	89%	0%	0%	4%	0%	0%	7%	1%	0%	0%	0%	100%
さくら保育園	80%	3%	7%	8%	1%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	100%
ひまわり保育園	79%	1%	2%	16%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	100%
みなみ保育園	12%	19%	59%	8%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
平野保育園	2%	1%	0%	96%	2%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
高丘保育園	4%	0%	1%	9%	85%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
長丘保育園	0%	0%	0%	6%	0%	55%	26%	6%	6%	0%	0%	100%
ひらおか保育園	2%	0%	0%	2%	2%	3%	90%	1%	0%	0%	0%	100%
たかやしろ保育園	1%	3%	0%	1%	0%	10%	18%	46%	21%	0%	0%	100%
豊井保育園	0%	0%	0%	5%	9%	0%	0%	2%	0%	75%	9%	100%
永田保育園	0%	0%	0%	0%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	96%	100%
ひよこ保育園	59%	2%	11%	18%	0%	0%	11%	0%	0%	0%	0%	100%
中野マリア幼稚園	55%	1%	6%	22%	7%	1%	4%	1%	1%	2%	0%	100%
中央幼稚園	49%	2%	5%	30%	6%	0%	3%	0%	0%	2%	3%	100%
ニチイキッズ	45%	0%	18%	9%	0%	0%	18%	9%	0%	0%	0%	100%
みらいく	7%	0%	0%	73%	13%	0%	0%	7%	0%	0%	0%	100%

6からわかること・・・

- 公立保育園では、地域にある施設に通園する方が多い。なぜか。小学校区と関係するのかな。
- 公立保育園以外では、地域が分散している。なぜか。職場、サービスなどと関係するのかな。

7 まとめ（前回の資料も含めての考察）

- 少子高齢化、共働き世帯の増加、核家族化の進行、女性の社会進出や就労形態の多様化
- 保育需要が高まり、昨年度待機児童が発生
- 保育に対するニーズも多様化（延長保育、休日保育、病児病後児保育、年度未保育など）

一方で

- 保育園の運営経費は、保護者の皆様から徴収させていただく利用者負担額（保育料）の他、市の一般財源で成り立っているが、社会保障関係の必要経費が年々増えるなど、市の財政状況も厳しい状態。
- その点、民営の保育園であると、国や県から一定の補助金ができるため、古い施設の改築や改修が進めやすい。
- 民営化で生じた財源により、公立保育園の支援充実が図られる。



- 過去のアンケート等の結果からどんな保育ニーズがあるのか概ね理解できるが、調査範囲が狭い
- 今現在保育園等を利用している方は、どんなことを考えているのだろう。
- アンケートをとって調査したらどうか。